

環境審議会視察報告

1 日時 平成27年11月26日(木) 13:00~17:00

2 視察場所

- エコタウン: 楽しい(株)[食品リサイクル] (株)エヌ・シー・エス[古着リサイクル]
- 日明エリア: 日明工場・粗大ごみ資源化センター・かんびん資源化センター

3 食品リサイクル事業(楽しい(株))

(1)食品リサイクル事業の説明

《主な質問・意見》

○この事業をスケールアップするためのネックは何か？

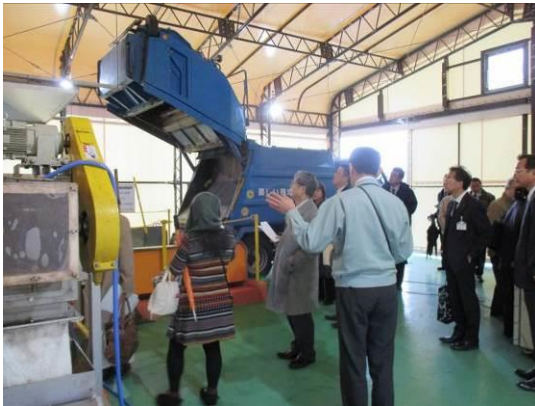
⇒収集エリア拡大による鮮度の低下、
排出者の分別レベル(排出物の品質)維持、
排水処理等の問題がある。

楽しい(株)による事業説明



(2)リサイクル施設見学

食品廃棄物の搬入



発酵施設



処理工程

搬入された野菜くず

脱水行程へ

脱水された野菜くず



1次発酵

最終発酵



4 古着リサイクル事業(株エヌ・シー・エス)

《主な意見》

- 古着リサイクル事業では、リユースされているものがあることのPRも必要。
- 回収ボックスを、地域の施設や大学に置けば、利便性が高まり、回収が進む。
- 遺品整理業からは、大量の古着が発生するので、連携した取組が効果的。

NCSによる事業説明



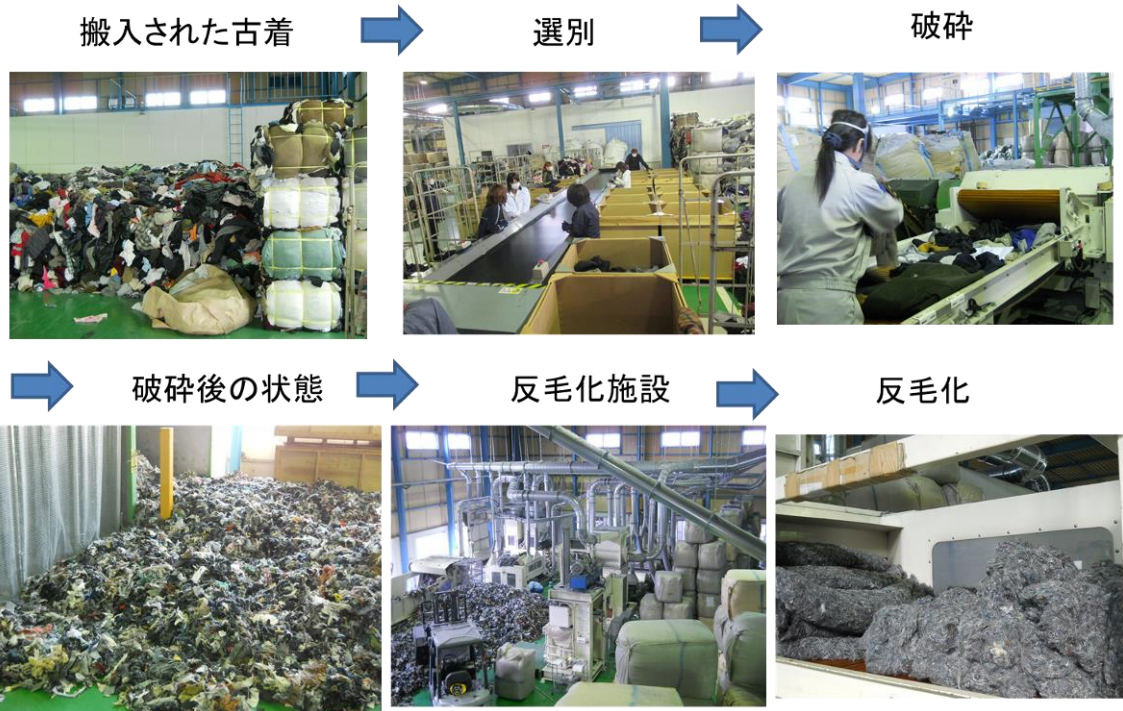
回収した古着の集積場所



反毛化施設



処理工程



5 日明工場・粗大ごみ資源化センター・かんびん資源化センター

かん・びん・ペットの搬入場所



かん・びん・ペットの選別ライン



日明工場



展開チェック



《主な意見》

- 今日の視察で、市のごみ処理施設や運営を見て、誇りに思った。
- 市民は、ごみと無関係には生活できない。多くの市民が、ごみ処理現場の実態を知れば、ごみ分別意識等の環境力が高まると思う。
- ごみ処理施設には新しい技術・システムも開発されているが、地域に合ったものを採用するべきである。